

防犯カメラ映像データの

取扱い等に関する覚書締結式

令和3年8月6日、明和町防犯カメラ映像データの取扱い等に関する覚書締結式を、館林警察署の小嶋署長様をはじめ同署の皆様方を明和町役場にお招きして行い、明和町の防犯体制の強化を確認しました。



【館林警察署 小嶋署長と私】

【明和町は開発ラッシュ！】

今、明和町は東西の工業団地造成事業での道路網整備や駅前の活性化開発事業で大変賑わっております。町の活性化を目指し、特に駅前の整備では、駅東口の病院と保健センターとの複合施設の建設に合わせ、施設へ駅

から直接アクセスできるペDESTリアンデッキ(高台歩道)の工事が行われております。

そして、駅西口には温泉掘削が終了し、現在温泉井戸が完成しております。ここに、温泉施設とビジネスホテルと商業施設を誘致し、駅東口と同様に駅から直接アクセスできるようペDESTリアンデッキで繋がります。

明和町の移住・定住の安全安心拠点の医療と温泉が駅前に出来ることで明和町のランクが一段と上がりますので、ご期待いただきたいと思っております。

【特殊詐欺は毎日のように！】

さて、毎日のように新聞を賑わせております特殊詐欺でございますが、町内でもそのような関係の電話があると伺っております。館林警察署の助言により、特殊詐欺の電話に直接出なくていい詐欺被害防止装置の購入補助を実施し、毎年少しずつ詐欺被害防止装置も増えている状況です。

しかし、犯罪を未然に防ぐ抑止力は何か？と考えたとき、それは「防犯カメラ」であるという答えに到達しました。

【映像データは犯罪捜査等にしか使いません！】

そこで明和町は館林警察署に相談し、防犯カメラで犯罪のない町を目指して、平成27年から令和2年までの6年間に、防犯カメラ100台体制を作りました。その結果、明和町の刑法犯認知件数は計画当初の半分以下になり、防犯カメラが犯罪の抑止力になる事が証明されました。

この度の覚書の締結により、犯罪等捜査がスムーズになり、さらに抑止力となるようお願いしております。

今後も、町の開発等により流動人口が増加することが予想されております。住みよい明和町づくりに館林警察署の一層のご指導をお願いするところでございます。どうぞよろしく願いいたします。



令和3年9月29日

明和町長 富塚もとすけ